



CORNES AG.
Quality & Innovation

LELY JUNO

餌寄せロボット



餌寄せで、解決！

いろいろ頑張っても乳量が頭打ちになるのは
餌寄せの問題かもしれません。



— Front —
LELY JUNO
FEED HELPER

餌寄せ作業の軽減

昼夜関係なく、人的労働力を必要とせずに、定期的に頻回の餌寄せを行います。留守にしているでも、いつでも餌寄せしてくれるので安心です。

バランスの良い飼料の採食

定期的な餌寄せは牛の選び食いを減らし、バランスの良い状態で飼料を採食させます。結果として、採食量に対する生産性の向上が期待できます。

最小限の電気消費量とメンテナンス

バッテリー駆動により、少ない電気消費で稼働します。また、消耗部品も少なく、メンテナンスが容易です。

牛体コンディションの向上

こまめな採食はルーメン内pHを安定させ、ルーメンアシドーシスの予防と十分なエネルギー補填が期待できます。常に飼槽に餌がある状態を作り出すため、昼間の採食が難しい夏場でも夜間の採食が可能となり、採食量の低下を防止する事ができます。

採食量の増加・残飼の削減

人による1日3回の餌寄せから、JUNOを導入して1日6～8回の餌寄せに切り替えたところ、牛群全体の乾物摂取量が6.0%増加し、乳量が3.0%増加、特に初産牛・高泌乳牛の乳量が増加しました。
(レリー社JUNO導入農家5件における導入1カ月前後の調査結果)

より安全に、使いやすく。
新しくなった
レリー ジュノ



安全性

安全センサーで障害物との衝突を感知し緊急停止。また夜間の安全性を高めるためにLEDランプをプラス。暗い牛舎でもジュノの位置が確認できます。



正確な走行

超音波センサーで壁やフィードフェンスとの距離を読み取りながら走行。左右両方の読み取りができ、直進、後進、回転、待機が可能です。



段差や勾配も走行

走行中、障害物をスムーズに乗り越えるため、新たにスカートのリフトアップする機能をプラス。段差や勾配の走行が可能になりました。



簡単設置

単独で稼働する自走式で、付帯施設や牛舎改造を必要としません。設置・設定は非常に簡単で、1日で完了。その日からすぐに利用ができます。



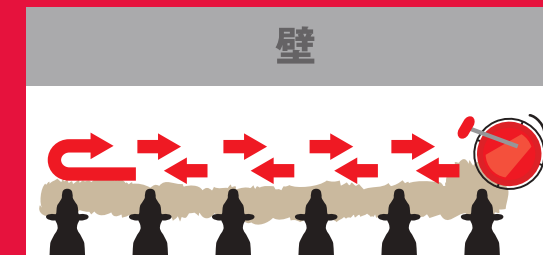
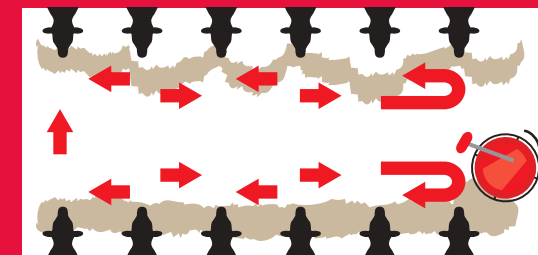
もしあなたの牧場で思うように乳量が伸びないとお悩みなら、餌寄せの自動化を検討してはどうでしょう。毎日の餌寄せは、他の作業との兼ね合いもあり1日3回程度の牧場が一般的。餌寄せロボット「レリー ジュノ」なら簡単に設置できて、1日12回の餌寄せも可能です。頻繁な餌寄せは牛群の飼料摂取を増加させ、特に牛群のランクが低い牛に大きな効果が現れます。その結果、牛群全体の乳量生産を拡大し、牛たちのコンディションも改善されます。

また、人手に頼っていた餌寄せ作業が不要になることで、労働環境にもゆとりが生まれます。餌寄せの自動化は、牧場経営のさまざまな問題を解決する有効な対策。販売開始以来、高い評価を誇る「レリー ジュノ」におまかせください。

餌寄せの自動化で、頻回給餌の効果を最大限に！
高い満足度で信頼を広げる
餌寄せロボット「レリー ジュノ」

さらに賢く、さらに効率的に！

より小回りがきく運転走行を実現して、折り返しや、狭小スペースでの使用も可能に。



Side

Specification

仕様

直径	110cm
高さ	110~177cm
重量	620kg
駆動	電気モーター
速度	12m/分
最大走行距離	1km
許容作業温度	-20℃~+50℃
コントロール方法	スマートフォンコントロール

充電も自動

餌寄せ終了後は自動的に充電器まで戻って充電待機します。満充電時は最大120分の走行が可能です。

●充電器
サイズ：縦66cm×横37.5cm×奥行25cm
単 相：100Vまたは200V



NEW!

コントロールは「スマートフォン」でスマートに！



日本語の専用アプリのダウンロードで、お使いのスマートフォンで操作や走行ルートの設定、走行スケジュールの設定が行えます。



設置可能な 牛舎環境

- ・給餌通路幅4.5m以上
(レイアウト等によっては5mの通路幅を必要とする場合があります)
- ・対応フェンス: 連動スタンションまたは水平バー
- ・コンクリート製の平らな床
(最大傾斜15%→走行ルートによって異なります)
- ・設置につきましては、事前の牛舎確認が必要となります。
詳細は最寄の営業所にお問い合わせ下さい。

ユーザー様の声

- 乳量の増加につながっている。
- 牛のコンディションは想像以上に変化があった。
- 自走式なので、レール工事などが少ない。
- 重労働から解放された。
- 自分の経営では、1年で元が取れた。
- 身体的にも精神的にも楽になりました。特に夜!
- ジュノ君は家族の一員になっています。

LELY社(レリー社・オランダ)飼養ロボットJUNO ユーザー様アンケートを実施致しました。(2014年10月~11月)
※回答者数61名(LELY搾乳ロボット利用中のユーザー様35%、その他の搾乳機ユーザー様65%)



LELY社(レリー)【オランダ】

搾乳ロボット アストロノートを世界各国へ供給し酪農の新しい未来を築き上げてきたレリー社(オランダ)は、1948年の創業以来、各種の先進技術、高品質の製品とサービスを提供しています。

これまで2,000以上の特許を保有し、更に毎年40以上の新規特許取得し続けていることがレリー社の先進性を証明しています。アストロノートは、1992年にテスト機体の稼働を経て1995年にマーケットへ参入し、現在では、世界30ヶ国以上、20,000台超の販売実績を誇ります。

(2018年4月時点)



株式会社 コーンズ・エージ

〒061-1433 北海道恵庭市北柏木町3丁目104番地1
TEL(0123)32-1452 | FAX(0123)32-7052
www.cornesag.com

WEB

